

図書紹介.....

◎カリマンタン—ボルネオ島インドネシア領—の生態学 (The Ecology of Kalimantan—Indonesian Borneo (The Ecology of Indonesia Series Vol. III) : Kathy MacKinnon *et al.*, xxiv+802 pp., Color plate 44 pp., Periplus Editions, 1996) (ISBO : 0-945971-73-7)

本書は10年前にGadjah Mada Univ. Pressから出版された“The Ecology of Sumatra”や“The Ecology of Sulawesi”のシリーズとは異なる“The Ecology of Indonesia Series”(全7巻)のうちの第3巻に当たるもので、このシリーズはインドネシア環境省とカナダのダルハウジー大学の共同プロジェクト“Environmental Management Development Project”の活動の一環として計画されたという。そして本書はこのシリーズ最初の出版物と思われる(自信はないが、まだ他の出版物を目にしていない)。

カリマンタンはボルネオ島のインドネシア領を指す言葉であるが、本書に引用された研究成果はマレーシア領やブルネイなどボルネオ島の他の国で得られたものも含まれている。過去の歴史を考えれば、むしろこれらの国から得られた情報量の方が多いといっても不思議ではない。

内容は、(1) The island of Borneo, (2) Coastal habitats, (3) Freshwater habitats, (4) The lowland rainforest of Borneo, (5) Other lowland forest formations, (6) Limestone habitats, (7) Mountain habitats, (8) Borneo peoples—migrations and land use, (9) Forest resources, (10) Wetland resources, (11) Coastal resources, (12) Agriculture and plantations, (13) Development and the environment, (14) Conservation: Protecting natural resourcesの14章に分けられている。これにAppendix(本書に出てくる植物の属名一覧、ボルネオ島における蛇の分布状況、イバン族が利用している有用森林植物などや、雑多と思える内容の8項目)、引用文献(1992年頃までのもの1,500編余とその後追加された1995年までのものを合わせて約1,600編)、索引、44頁のカラー図版(写真は美しい)が付されている。

引用文献の数から予想されるように、取り上げられている項目は多いが、記述の内容には当然ながら濃淡がある。しかし、カリマンタンの自然を概観的に知るには格好の書物といえよう。研究者にとって役立つことはもちろんであるが、大学(あるいは大学院)のテキストブックとして使われる方が適切といえるかも知れない。なお、インドネシアでの価格は邦貨で4,000円弱である。

(小久保醇)